

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「個人に最適化された社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

他者とのインタラクションを支えるサービスの創出

3. 研究開発課題名

数理的・社会情動能力の発達を促進する AI エージェントシステムの開発

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

寺田 和憲(岐阜大学工学部 教授)

5. 評価結果

評点： A 優れている

総評：

本研究開発課題は、数理的・社会情動能力を子どもに身につけさせる学習支援 AI エージェントを開発することにより、子どもが社会の中で人間関係を数理的に理解し、現実社会で応用可能な能力を獲得することを目指すものである。

探索研究期間では、人工知能、認知科学、アフェクティブコンピューティング、社会心理学、および経済学を基礎にした理論構築において学術的成果を挙げ、論文や口頭での発表が多数なされた。また、学習支援 AI エージェントと子どものインタラクションが、子どもの数理的・社会情動能力獲得に寄与することを示し、いじめ等の社会的問題に対して、従来の道徳教育とは異なる新たな切り口によるアプローチ、および解決法を見いだした。

今後は、教育心理学だけでなく、臨床心理学や教諭の育成過程となる現場に精通した学術的専門家を交え、数理的・社会情動能力の発達過程の把握、およびウェルビーイングの向上における有効性を評価し、本研究開発が発展することを期待する。

以上